

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第45期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大泉政治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前田信夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前田信夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第44期 第2四半期 連結累計期間		第45期 第2四半期 連結累計期間		第44期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		3,810,964		5,234,464		8,883,896
経常利益	(千円)		290,174		434,346		733,053
四半期(当期)純利益	(千円)		155,361		291,194		453,259
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		128,881		201,494		555,544
純資産額	(千円)		11,649,831		12,210,459		12,076,466
総資産額	(千円)		20,210,087		22,888,115		21,373,192
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		6.91		12.94		20.15
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		57.6		53.3		56.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		576,865		471,503		862,202
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		67,870		465,132		407,565
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		257,365		561,951		62,392
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		3,969,807		2,650,331		3,025,016

回次		第44期 第2四半期 連結会計期間		第45期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		5.65		6.29

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,234百万円（前年同期比37.4%増）、経常利益434百万円（前年同期比49.7%増）、四半期純利益291百万円（前年同期比87.4%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業につきましては、当第2四半期連結累計期間は売上高4,941百万円（前年同期比41.0%増）、セグメント利益430百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、当第2四半期連結累計期間は売上高309百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益213百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成24年3月31日）に比べ1,514百万円増加し、22,888百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,227百万円増加し、11,776百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加（1,009百万円増）、商品及び製品の増加（911百万円増）、仕掛品の増加（168百万円増）の一方で、現金及び預金の減少（374百万円減）、有価証券の減少（300百万円減）、原材料の減少（143百万円減）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ287百万円増加し、11,111百万円となりました。これは主に土地の増加（454百万円増）の一方で、建物及び構築物（純額）の減少（114百万円減）、投資有価証券の減少（71百万円減）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,380百万円増加し、10,677百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加（705百万円増）、短期借入金の増加（700百万円増）の一方で、長期借入金の減少（70百万円減）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、12,210百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（223百万円増）の一方で、その他有価証券評価差額金の減少（89百万円減）によるものです。

この結果、自己資本比率は53.3%と前連結会計年度末に比べ3.2ポイント減少しました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動による471百万円の支出、投資活動による465百万円の支出、及び財務活動による561百万円の収入となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、2,650百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は471百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益444百万円の計上、減価償却114百万円の実施、仕入債務の増加692百万円がある一方で、たな卸資産の増加949百万円、売上債権の増加459百万円、その他に含まれる前渡金の増加158百万円、法人税等の支払額85百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は465百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出540百万円、貸付けによる支出300百万円がある一方で、有価証券の償還による収入300百万円、有形固定資産の売却による収入86百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は561百万円となりました。これは主に短期借入金の純増額700百万円、長期借入れによる収入500百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済570百万円、並びに配当金の支払67百万円があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は366百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機(パチスロ機)等の生産が著しく増加しております。

これは、第3四半期以降販売機種が生産に伴う増加であります。

なお、不動産事業は生産活動を行っておりません。

受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っております。当第2四半期連結累計期間において、著しい増減はありません。

なお、不動産事業は受注活動を行っておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における自動サービス機器の販売が著しく増加しております。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、神奈川県厚木市内に福祉関連事業用地（取得価格476百万円 面積7,230㎡）を取得いたしました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市伊勢原2-5-43	10,420	46.31
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,146	13.98
大泉政治	神奈川県厚木市	1,017	4.52
大泉賢治	神奈川県厚木市	604	2.68
田澤路子	神奈川県伊勢原市	485	2.15
オーイズミ従業員持株会	神奈川県厚木市中町2-7-10	419	1.86
田中秀雄	横浜市鶴見区	300	1.33
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	300	1.33
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町2-7-10	292	1.30
(株)商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2-10-17	210	0.93
計		17,195	76.43

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,471,400	224,714	
単元未満株式	普通株式 24,500		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,714	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市中町 2-7-10	4,100		4,100	0.0
計		4,100		4,100	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,025,016	2,650,331
受取手形及び売掛金	2,358,816	3,367,901
有価証券	300,840	-
商品及び製品	710,212	1,622,201
仕掛品	577,860	746,650
原材料	2,121,109	1,977,802
繰延税金資産	63,373	81,896
その他	1,410,940	1,353,564
貸倒引当金	19,305	23,745
流動資産合計	10,548,863	11,776,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,331,533	2,217,139
土地	6,697,388	7,152,342
その他(純額)	151,706	181,124
有形固定資産合計	9,180,628	9,550,606
無形固定資産	14,010	13,822
投資その他の資産		
投資有価証券	1,088,787	1,017,727
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	4,697	4,657
その他	477,004	464,297
貸倒引当金	40,800	39,600
投資その他の資産合計	1,629,690	1,547,082
固定資産合計	10,824,329	11,111,512
資産合計	21,373,192	22,888,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868,638	3,574,051
短期借入金	300,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,075,596	1,111,296
未払法人税等	106,396	187,888
賞与引当金	41,650	57,660
製品保証引当金	17,000	16,000
その他	228,408	185,929
流動負債合計	4,637,689	6,132,825
固定負債		
長期借入金	3,451,470	3,345,272
繰延税金負債	9,400	8,860
退職給付引当金	24,878	26,525
役員退職慰労引当金	434,750	444,328
負ののれん	3,838	2,303
資産除去債務	60,034	60,607
その他	674,664	656,934
固定負債合計	4,659,036	4,544,830
負債合計	9,296,725	10,677,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	10,492,375	10,716,082
自己株式	3,889	3,902
株主資本合計	12,169,085	12,392,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,618	182,319
その他の包括利益累計額合計	92,618	182,319
純資産合計	12,076,466	12,210,459
負債純資産合計	21,373,192	22,888,115

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,810,964	5,234,464
売上原価	2,813,602	4,077,154
売上総利益	997,361	1,157,310
販売費及び一般管理費		
販売促進費	96,663	16,414
役員報酬	92,329	93,778
給料手当及び賞与	91,033	104,145
賞与引当金繰入額	21,042	29,509
退職給付費用	14,039	14,360
役員退職慰労引当金繰入額	4,956	9,577
その他	386,082	476,600
販売費及び一般管理費合計	706,149	744,387
営業利益	291,212	412,922
営業外収益		
受取利息	898	1,624
受取配当金	10,424	14,517
その他	11,202	25,576
営業外収益合計	22,524	41,718
営業外費用		
支払利息	23,407	18,515
その他	156	1,779
営業外費用合計	23,563	20,294
経常利益	290,174	434,346
特別利益		
固定資産売却益	-	10,407
特別利益合計	-	10,407
税金等調整前四半期純利益	290,174	444,754
法人税、住民税及び事業税	119,300	172,582
法人税等調整額	15,512	19,023
法人税等合計	134,812	153,559
少数株主損益調整前四半期純利益	155,361	291,194
四半期純利益	155,361	291,194

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	155,361	291,194
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	26,480	89,700
その他の包括利益合計	26,480	89,700
四半期包括利益	128,881	201,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,881	201,494

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	290,174	444,754
減価償却費	103,255	114,722
貸倒引当金の増減額（は減少）	10,880	3,240
製品保証引当金の増減額（は減少）	1,000	1,000
賞与引当金の増減額（は減少）	300	16,010
退職給付引当金の増減額（は減少）	2,334	1,646
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	4,956	9,577
受取利息及び受取配当金	11,322	16,141
支払利息	23,407	18,515
売上債権の増減額（は増加）	299,872	459,804
たな卸資産の増減額（は増加）	4,523	949,850
仕入債務の増減額（は減少）	642,548	692,583
その他	249,518	258,458
小計	165,284	384,204
利息及び配当金の受取額	11,322	16,919
利息の支払額	23,612	18,428
法人税等の支払額	399,290	85,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	576,865	471,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	10,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	34,685	540,716
有形固定資産の売却による収入	-	86,842
貸付けによる支出	30,300	300,200
貸付金の回収による収入	2,685	3,150
子会社株式の取得による支出	10,200	17,800
その他	5,370	3,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,870	465,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	700,000
長期借入れによる収入	1,100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	775,220	570,498
自己株式の取得による支出	-	13
配当金の支払額	67,414	67,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,365	561,951
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	387,369	374,684
現金及び現金同等物の期首残高	4,357,177	3,025,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,969,807	2,650,331

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	3,969,807 千円	2,650,331 千円
預入期間が3か月を 超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	3,969,807 千円	2,650,331 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	67,488	3	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	67,487	3	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,504,585	306,378	3,810,964		3,810,964
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		16,213	16,213	16,213	
計	3,504,585	322,592	3,827,177	16,213	3,810,964
セグメント利益	288,606	234,041	522,648	231,435	291,212

(注) 1 セグメント利益の調整額 231,435千円は、親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,941,536	292,928	5,234,464		5,234,464
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		16,320	16,320	16,320	
計	4,941,536	309,248	5,250,784	16,320	5,234,464
セグメント利益	430,491	213,711	644,203	231,280	412,922

(注) 1 セグメント利益の調整額 231,280千円は、親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円91銭	12円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	155,361	291,194
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	155,361	291,194
普通株式の期中平均株式数(株)	22,496,029	22,495,927

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 市川 一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内野 福道 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。